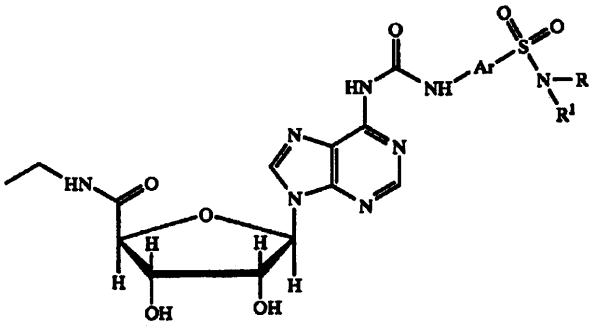
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-520747(P2008-520747A)
【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2008-024
【出願番号】特願2007-543475(P2007-543475)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 7/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7076　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｐ　 7/02
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　 9/08
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｋ　31/7076

【手続補正書】
【提出日】平成20年11月4日(2008.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（N^6－(４－アミノ－３－ヨードベンジル)－アデノシン－５‘－Ｎ－メチルウロナミド）（ＡＢ－ＭＥＣＡ）、N^6－２－（４－アミノフェニル）エチル－アデノシン（ＡＰＮＥＡ）、（N^6－（３－ヨードベンジル）－５’－Ｎ－メチルカルボキサミドアデノシン）（ＩＢ－ＭＥＣＡ）、２－クロロ－ＩＢ－ＭＥＣＡ、及び
次の式：

【化００１】



（式中、
Ａｒはアリル基であり；
ＲとＲ[1]は、それぞれ独立して、水素、アルキル、アリル、置換アルキル、置換アリル、ヘテロアリル、アルケニル、置換アルケニル、シクロアルケニル、置換シクロアルケニル、シクロアルキル、置換シクロアルキル、アルコキシ、置換アルコキシ、アルキニル又は置換アルキニルである；又は
ＲとＲ[1]が、結合している窒素原子と一緒になって、Ｏ、Ｓ及びＮから選択される１～４のヘテロ原子をさらに含んでいてもよい単環又は複数の縮合環を有する、置換又は非置換、飽和又は不飽和の３～２０員環系を形成してもよい）
で表される化合物；
又は薬学的に許容可能なその塩である）
で表される化合物より選択される、ＨＩＦ－１α（低酸素誘導因子１－α）の発現レベルを上昇させる作用を有し、それにより虚血性の組織障害を軽減させるアデノシンＡ[3]受容体アゴニストを含有してなる、ＨＩＦ－αの発現レベルの低下により特徴付けられる虚血性疾患における血管新生を促進するための医薬組成物。
【請求項２】
ＨＩＦ－１αの発現が少なくとも１０％増大する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
ＨＩＦ－１αの発現が少なくとも３０％増大する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項４】
ＨＩＦ－１αの発現が少なくとも６０％増大する、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項５】
虚血性疾患が、肺高血圧症である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項６】
虚血性疾患が虚血性心血管疾患である、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項７】
虚血性心血管疾患が、心筋虚血又は心筋梗塞である、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】
虚血性疾患が、末梢性動脈病、深部静脈血栓症又は血管不全である、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項９】
虚血性疾患が妊娠疾患である、請求項５に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
妊娠疾患が、子癇前症又は子宮内発育遅延である、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
虚血性疾患が、発作又は多梗塞性認知症である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
虚血性疾患が末梢性動脈病である、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
末梢性動脈病が壊疽である、請求項１２に記載の医薬組成物。

【請求項１４】
虚血性疾患が、脳虚血又は網膜虚血である、請求項１に記載の医薬組成物。